

熊本・大分地震

電子業界の状況

三菱電機が熊本県合志市に構えるパワーデバイス製作所と、同県菊池市に構える液晶事業統括部は、熊本・大分地震の影響により操業を停止している。被害状況を確認中で復旧時期は未定。

ルネサスエレクトロニクスが熊本市南区に構える川尻工場は、熊本・大分地震の影響により操業を停止している。設備の一部に破損があり、16日の本震による被害の拡大が確認された。復旧時期は未定。

ソニーが熊本県菊陽町に構える半導体工場は、熊本・大分地震の影響により操業を停止している。設備の被害状況を確認している。復旧時期は未定。同工場ではスマートフォン向けに高いシェアを持つCMOS（相補性金属酸化膜半導体）イメージセンサーを生産している。なお、長崎と大分の工場は復旧した。

TOPTOファインセラミックスが大分県中津市に構える工場は、熊本・大分地震発生による被害はなく、操業が続いている。同工場では半導体・

液晶製造装置向け構造部材を生産している。なお、TOPTOグループが福岡・大分両県に構える全工場が地震後も操業を続けている。

凸版印刷子会社のトッパンエレクトロニクスフロダクツ熊本工場（熊本県玉名市）が生産設備確認のため稼働停止。同工場ではオンチップカメラフィルムター、リードフレームなどを生産。

住友電気工業グループのSWS西日本は、熊本県菊池市木柑子の熊本工場が被災したが製造への影響はなかった。同工場は自動車用ワイヤーハーネスを製造している。

古河電気工業グループの九州ネットワークケーブルは、熊本県上益城郡甲佐町に構える本社工場が建屋被害はないが周辺道路等の損傷で休業、生産開始を見極め中。同工場はメタルケーブル、光ファイバーなどを製造しており、他拠点での代理生産も検討する。

フジクラグループのフジクララインテック西日本が熊本県菊池郡大津町室に構える本社工場が被災、設備などの確認を進める。同工場によるらせん状成形品の生産を停止している。